

令和7年度 府中市立府中第九小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第6学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	- 文章作成に苦手意識を感じる児童が多い。 - 文章の内容を正確に読み取ったり、伝えたい事柄を筋道立てて書き表したりすることが苦手な児童が多い。	- 新出漢字の指導において熟語の意味調べや例文作りに取り組ませ、語彙を増やすとともに、文章を書く機会を多く確保する。 - 本を定期的に紹介したり朝読書の時間を積極的に活用したりして、児童の読書活動を充実させ、読解力の向上につなげる。【発見】【表現】		
算数	- 四則計算が正確にできない児童が多い。特にわり算の筆算のしかたが身につけていない。 - 基本的な学習内容がしっかり身につけていないため、既習事項を生かして問題を解くことができない。 - 文章題など論理的に考える問題を苦手とする児童が多く、立式が苦手である。	- 授業の最初にeライブラリーで前時の復習をする時間を設け、計算力の向上も図る。【発見】【決定】 - 問題文を最後まで音読させる。問題場面を線分図等で表し、立式しやすくする。【発見】【表現】		
理科	- 理科の学習で用いる言葉の意味を十分に理解し、プリントやテストに取り掛かること。 - 観察や実験の結果などから、より妥当な考えをつくりだすこと。 - 実験の目的を理解し、自ら実験の方法や器具を選択し、実行すること。	- 理科的な用語の意味や使い方を繰り返し指導し、定着を図る。【表現】 - 考察の型を示し、実験結果を踏まえて学習問題に沿った考察ができるようにする。【決定】 - 実験方法を自分たちで考えさせる時間を設定する。話し合いの場では、実際の器具を見て、触り、より実験に合う方法や器具を選択する。【対話】		
社会	- 問題解決に向けて適切な資料を選択し、活用できる児童が少ない。 - 年表などの資料のどの部分を見たらよいのか、資料の読み取りが難しい児童がいる。	複数の資料を提示し、その中から適切な資料を選択して情報を取り出したり、比較・関連付けたりする場면을授業の中に意図的に設ける。【発見】【決定】		
音楽	リコーダー等の器楽の活動では、ねばり強く取り組むことに課題をもつ児童がいる。	拡大楽譜やビックバットを活用し、演奏を分かちやすく提示する。また、ペアの学習でお互い聞き合ったり学び合ったりする活動を通して、自信をもって表現できるように苦手意識をもっている児童には特に丁寧に対応していく。【対話】【表現】		
図画工作	- 材料や道具の特徴を生かすことに課題がある。 - 既習事項の技能を生かすことがあまりできていないところに課題がある。	- 児童が思いに合わせて様々な材料や道具を試せる環境を作り、特徴を生かして表せるようにする。【発見】 - 前学年までの材料や用具についての経験や技能を、活動前に振り返らせて表現に合わせて総合的にいかすようにする。【表現】		
家庭	- 調理実習に対しては意欲的である。調理の流れや工夫などの具体的なイメージをもつことが苦手な児童は多い。【発見】 - 裁縫に対して苦手意識をもっている児童が一定数いる。ミシンの準備や玉留め、玉結びなど細かい作業を粘り強く取り組めるようになってほしい。【対話】	- ICT機器を用いて、必要な作業手順を考えさせ、完成への道筋のイメージをもたせる。【発見】 - グループで話し合うことで、多様な価値観を認め、課題解決を図る。【対話】 - つまづいている児童を励まし、修正の手だてを助言する。【対話】		
体育	- 自分の学びの課程を蓄積し、成長を確かめられるようにする。友達に見てもらい、助言を取り入れられるようにする。【対話】 - 課題に対して必要なことは何か、振り返りを通して自己調整を行える子が少ない。【決定】	- ICTや学習資料を活用し、児童が自分に合った課題や練習に取り組めるようにする。また、学び合いを深めるために、児童にアドバイスをする時の視点を与え、積極的に意見交流を図る。【対話】 - 授業時間内に個人での振り返り、全体の共有の時間を確保し自己の課題に気付きやすくする。【決定】		
外国語	- 英語で発音することに対して苦手意識をもつ児童がいる。 - 外国語を活用して意欲的にコミュニケーションを図ろうとする児童が少ない。	- ペアから始め、簡単な会話から、相手に自分の思いが伝わる楽しさを感じる経験をさせる。 - ノバールコミュニケーションを意図的に取り入れ、楽しみながらコミュニケーションをとることができるようにする。【発見】【表現】【決定】		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。